【参考資料 3】

令和7年度合理的根拠に基づく政策形成体制構築業務
公募型プロポーザル選定委員会議事録（議事要旨）

項目	内容										
1 日時	令和7年4月10日 10時00分から11時00分まで										
2 場所	本館3階経営戦略審議官会議室 ※提案者は Zoom により出席										
3 出席委員	<table border="0"> <tr> <td>総務局</td> <td>施策形成・広報担当部長</td> </tr> <tr> <td>総務局施策形成支援チーム</td> <td>担当課長</td> </tr> <tr> <td>総務局統計課</td> <td>課長(代理)</td> </tr> <tr> <td>総務局人事課</td> <td>課長(代理)</td> </tr> <tr> <td>健康福祉局健康づくり推進課</td> <td>課長</td> </tr> </table>	総務局	施策形成・広報担当部長	総務局施策形成支援チーム	担当課長	総務局統計課	課長(代理)	総務局人事課	課長(代理)	健康福祉局健康づくり推進課	課長
総務局	施策形成・広報担当部長										
総務局施策形成支援チーム	担当課長										
総務局統計課	課長(代理)										
総務局人事課	課長(代理)										
健康福祉局健康づくり推進課	課長										
4 議題	令和7年度合理的根拠に基づく政策形成体制構築業務										
5 担当部署	施策形成支援チーム										
6 開催方法	参集										
7 議事内容	業務予定者の選定にあたり、次のとおり委員から評価・選定理由を確認した。 A社:三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 【A社】 <u><ノウハウ、経験、情報量、実績></u> ○ 実証分析や政策評価において豊富な実績があり、必要なノウハウを十分に有している。 ○ 総務省事業などで行政機関のデータ分析・評価を行った経験があり、提案内容も十分な情報量に基づいている。 ○ 米国・戦略国際問題研究所(CSIS)の客員研究員経験者が在籍するなど、専門性の高さが認められる。 <u><個別施策に係る施策効果の分析評価></u> ○ 本県の状況やレベル感に合った提案内容で、実行性が高い。 ○ 仕様書に沿った施策形成プロセスを踏まえ、具体的な進め方が示されている。 ○ 柔軟に対応可能な具体的な分析評価手法が提案されている。 <u><職員の企画立案スキルの強化></u> ○ 提案された研修内容に公的統計の活用や基本的リテラシー確認を追加することで、さらに充実が図れる。 ○ より具体的なスキルセットが整理されており、実践的な内容となっている。 【総合評価】 ○ 遂行能力、提案内容及び実施体制の面から、最も効果的な業務遂行が期待できるのはA社である。 (以上)										